

第七十四回  
帝國議會  
貴族院

# 職員健康保險法案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十四年三月二十日(月曜日)午前十時  
十六分開會

○委員長(男爵大森佳一君) 開會ヲ致シマ

ス、船員保險法案ノ御質疑ヲ續行致シタイ  
ト思ヒマス、只今大臣ハ少シ遅レルサウデ  
アリマス、質問ノ御通告ハアリマセヌ

○子爵實吉純郎君 先達テ此ノ第十七條ノ

三ニ付テ質問ガアツクヤウデゴザイマスガ、  
此ノ除外サレル者ヲ勅令ヲ以テ指定シタト  
云フノハドウ云フモノデセウカ、此ノ勅令  
案ノ要綱ヲ見マシテモハッキリ書イテアリ  
マセヌノデ、ソレヲ一應御聽キシタイ思ヒ  
マス

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ノ

十七條ノ第三號ノ勅令ヲ以テ指定スル者ヲ  
除外スルト云フノハ、別途ノ勅令要綱ニモ  
内容ガ書イテゴザイマセヌガ、是ハ實ハ漁  
船ノ船員ノ一部ヲ除クト云フコトヲ只今豫  
想シテ居ルノデアリマス、此ノ漁船ノ船員ノ  
一部ヲ除キマシタ事情ニ付キマシテハ、昨日  
ドナタカ御質問ガゴザイマシテ、御答ヘ申上  
ゲタト思ヒマスルガ、尙足りマセヌ所ガア  
リマスレバ御答ヘ致シマス

○子爵實吉純郎君 此ノ漁船ノ船員ヲ除カ

レタノハ、サウシマスト漁師デアツテ漁船  
ニ乗組ンデ色々ナ仕事ヲスルト云フヤウナ  
連中ハ除カレルコトニナルノデスネ、サウ  
スルト其ノ人達ハ又他ノ方法カ何カデ之ヲ  
ドウトカ優遇スル途デモ御考ヘニナツテ居  
ラレルノデスカ、ソコヲ一ツハッキリ御聽  
キシタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 實ハ漁船ノ乗組

員ニ付キマシテハ、漁夫詰リ漁業ニ従事ス  
ル者ト、ソレカラ船ノ操縦ニ従事スル者ト  
アル譯デアリマス、ソレデ捕鯨船トカ蟹工  
船トカ云フヤウナ大キナ船ニ付キマシテ  
ハ、船ヲ操縦スル者ヲ船員トシテ、之ニハ

船員法ヲ適用スル、從ツテ此ノ保險法モ適用  
スルコトハ明確ナノデアリマス、ソレカラ  
蟹工船其ノ他大キナ船ハ、ソレノ漁撈ニ従  
事スル者ニ付キマシテハ、是ハ船員デナイ  
ト云フコトニナツテ居リマス、處ガ漁船ハ小  
サイ船ガ多イノデアリマス、小船ニナリマ  
スト漁船ノ乗組員ハ、魚モ捕レバ又船ノ操  
縦モヤルト云フヤウニ分擔ガ多少曖昧ナノ  
デアリマシテ、ソレデ大多數ハ乗組員ガ全  
部船員トシテ扱ハレテ居ルノデアリマス、  
處ガ其ノ船員ノ中ニハ所謂本當ノ船ヲ操縦

スル者ト、ソレカラ偶ニハ操縦スルガ主ト  
シテ漁撈ニ従事スルト、斯ウ云フヤウナモ  
ノガ含マレテ居リマス、船員ニ付キマシテ  
ハ、是ハ其ノ大體一年ヲ通ジテ船ニ乗ッテ  
居ル、漁期以外デモ其ノ船ハ他ノ運送船ト  
シテ使ハレタリナンカシテ乗ッテ居ルノデ  
アリマス、所デ本當ノ漁業ニ従事スル者ニ  
付キマシテハ、一年ノ中三箇月トカ、六箇

月ノ間ダケ乗ッテ、後ハ陸上ニ上ツテ他ノ仕  
事ヲスル、サウ云フ者ニ付キマシテハ此ノ  
船員保險制度ノ養老年金ト云フヤウナモノ  
ハ餘リ適當デナイ、サウ云フ者ニ對シテ非  
常ナ高イ保險料ヲ拂ハセルト云フコトハ、  
負擔能力カラ言ツテモ適當デナイト云フノ  
デ、斯ウ云フ者ニ對シテハ除外シヨウ、斯  
ウナツタノデアリマス、處ガ此ノ除外シタ者  
ニ付キマシテハ如何スルカト云ヒマス、  
此ノ漁船乗組員デ船員トシテ扱ハレルモノ  
ハ三十「トン」以上デアリマシテ、船ノ數ニ  
致シマシテモ二千數百隻、ソレカラ船員ノ  
數ガ大體三四萬トナツテ居リマス、然ルニ漁  
船ニ乗ッテ漁業ニ従事スル者ト云ヘバ百萬  
以上ノ人間デアリ、船ニシマシテモ三十何  
萬隻、詰リ船員法ノ適用ノナイ船ノ方ガ漁

船ニ於テハ遙カニ多イ、ソレカラ船員ニ付  
キマシテモ、船員法ノ適用ノナイ漁業従事  
者ノ方ガ非常ニ多イノデアリマス、ソコデ  
是等ノ者ニ付キマシテハ、漁業ノ方ノ立場  
カラ何カ適當ナ救済ヲスル必要ガアルノデ  
アリマシテ、之ニ付キマシテハ只今申シマ  
シタ三十「トン」以下ノ船員デナイ漁業者達  
モ、併セテ一緒ニ適當ナ方法ヲ考ヘル、此  
ノ適當ナ方法ヲ考ヘルニ付キマシテハ、將  
來社會保險デ行キマスカ、或ハ漁業組合ト

カ水産組合トカ云フヤウナモノヲ單位トシ  
テ、共濟組合ノヤウナモノヲ作ツテヤルノ  
ガ宜イカト云フコトハ、關係ノ省トモ十分  
連絡致シマシテ、是カラ速カニ調査ヲ遂ゲ  
テ成案ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デゴザイ  
マス

○子爵實吉純郎君 サウシマスト今ノ政府  
ノ御考ハ、餘リ遠クナイ中ニ具現ナサル  
ト云フ御考デアリマスカ、或ハ又將來ト云  
フノハ五年ナリ十年ナリ先ニナルト、サウ  
云フコトニナルノデアリマセウカ、ソコノ  
所ハドウ云フモノデゴザイマセウカ、ハッキ  
リト伺ツテ見タイト思フノデス

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ除外サレタ

漁船船員ニ付キマシテノ施設ハ私共トシマシテハ、成ルベク早イ機會ニ於テヤリタイ、出來得レバ此ノ一箇年位ニ調査ヲ進メテ、或成案ヲ得タイト云フ位ニ考ヘテ居リマスガ、併シナガラ何分ニモマダ調査資料ガ極メテ乏シイノデアリマシテ、是カラ其ノ資料蒐集ニ掛ツテ調査ニ掛リタイト、斯様ナ次第デアリマスカラ、ハッキリ來年迄ニ間ニ合フト云フコトハ申シ兼ねマスガ、大體一年位ニヤリタイト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマス

○男爵園田武彦君 只今蟹工船ト捕鯨船ノ御話ガアツノデスガ、此ノ蟹工船ニ本法ガ適用サレルト云フコトニ付テハ、政府トシテハ色々御研究ニナツタコトト思ヒマスガ、一種ノ海上工場ノヤウナモノデアツテ、其ノ乗組ノ性質ヤ何カガ非常ニ異ツテ居ルヤウニ考ヘマスノデ、是ガ何カ農林省邊リ等ト御協議ガ御アリニナツタノデセウカ、チヨット其處ヲ伺ヒタイ

○政府委員(進藤誠一君) 只今蟹工船ニ付テノ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ斯ウナツテ居ルノデアリマス、此ノ蟹工船ノ中ノ先程申シマシタノハ、漁撈ニ従事スル者ハ船員デハナイ、ソレカラ罐詰ヲ造ルトカ何トカ云フ仕事ニ従事シテ居ル者ハ、一種ノ工場トシテ現在ノ健康保險法ガ適用ニナリマ

シテ、既ニ保險ニ入レテアリマス、今度ノ保險ノ問題ニナリマスノハ其ノ蟹工船ノ中ノ船員デアリマシテ、水夫、火夫、機關士、運轉士ト云フヤウナ者ガ今度ノ問題ニナル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス

○子爵松平保男君 私ハ條文ニ付テ三四點、チヨット自分ノ了解シ難イ所ガアリマスカラ伺ヒタイノデアリマス、第一ニ、十五條ノ所デゴザイマスガ、此ノ條文ノ中ニアリマス終ヒノ方ノ「本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」是ハ「國、北海道、府縣、市町村」、斯ウ云フモノ「其ノ他之ニ準ズベキモノ」所有ニ屬スル船舶」ト云ヒマスカラ、例ヘバ逓信省ニ所屬シテ居ル船デアルトカ、或ハ警察ニ所屬セル船トカ、サウ云フヤウナ船ノ乗組員ニ付テノコトダラウト思フノデアリマスガ、是ハ其ノ範圍ヲ勅令ヲ以テ定メラレルノデアリマスカ、或ハ此ノ給付ノ金額トカ云フヤウナコトニ付テ決メラレルノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(進藤誠一君) 第十五條ノ政府其ノ他自治團體ノ所有シテ居ル船ノ船員ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ定メル、斯ウ書イテアリマス、是ハ現在政府ノ持ツテ居ル船ガ鐵道省、逓信省其ノ他ノ船員ガ約三千人バカリ、

ソレカラ府縣市町村ノ船員ガ二千人位居ル譯デアリマス、是ハ此ノ保險カラ別ニ致シマシテ、共濟組合ト云フ制度デヤリタイト思ツテ居リマス、現在多ク是等ノ省ニハ現業員ノ共濟組合ガアルノデアリマシテ、其ノ方ノ制度ニ入レテ、同様ノ給付ヲ致スヤウニ各省デ考ヘテ貰フト云フコトニ協議シテ居ルノデアリマス、給付ノ内容ノ細カイ小サイ點ニ付キマシテハ、是ハ又其ノ各省デ他ノ職員トノ關係モアリマシテ、ソレ等ヲ考慮シナケレバ、畫一的ノ方法ハ或ハ不適當ト云フコトニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、ソコデ多少ノ違ヒハアリ得ルト思ヒマスガ、大體船員保險ノ方ニアリマスルヤウナ給付ノ内容ト略、類似ナモノニシテ、ソレヲ保險ノ方デ認メテ、代行ト云ヒマスカ、保險トシテ認メル、斯ウ云フ風ナコトニナルト思ヒマス

○子爵松平保男君 サウ致シマス此處ニ掲ゲデアリマスルヤウナ種類ノ側ノモノハ、別途ノ方法ニ於テ其ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトデアツテ、此ノ中ノ或部分ノモノハ勅令ヲ以テ定メテ、サウシテ此ノ本法ヲ適用サレル、斯ウ云フ意味デアリマスカ、斯ウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 左様デゴザイマス

○子爵松平保男君 次ハ二十五條、二十五條ノ所ヲチヨット讀ンデ私分ラナイノデゴザイマスガ、之ヲ一ツ例ヲ示シテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、「政府ハ事故ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受クベキ者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償ノ請求ノ權利ヲ取得ス」ト云フ、此ノ點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 二十五條ノ規定ハ、現在ノ健康保險ニモアリマスシ、又職員保險ニモアル規定デアリマスガ、其ノ意味ハ事故ガ第三者ノ行爲ニ因ツテ生ズル、例ヘバ第三者ガ被保險者ニ對シマシテ障害ヲ與ヘタ、其ノ第三者ノ行爲ニ因リマシテ被保險者ノ傷病ト云フ結果ヲ生ジタル、ソコデ政府ハ被保險者トシテ被保險者ニ對シマシテ、保險給付ヲスル、サウスルト其ノ保險給付ノ價額、所定ノ給付ヲシマスカラ、其ノ價額ガアリマスカラ、其ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受クベキ者、被保險者デアリマスガ、被保險者ノ第三者ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ代理スル第三者ガ本來損害賠償トシテ怪我ヲ受ケタ被保險者ニ給付スベキモ

ノデアアルガ、其ノ給付ヲ政府ガ金デ拂ッテ  
ヤッタノデアアルカラ、若シ第三者ノ損害賠  
償ノ請求權ヲ依然トシテ被保險者ガ持ッテ  
居ルト云フコトニナルト、被保險者ハ第三者  
カラ損害賠償ヲ受ケラレルシ、政府カラモ、  
被保險者カラモ給付ヲ受ケラレル、二重ニナ  
ル、是ハ衡平ヲ失スルト云フノデ、政府ガ  
給付ヲシテシマヘバ、其ノ限度ニ於テ被保  
險者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求  
權ヲ政府ガ被保險者ノ方ニ代ッテ持ツ、是ハ  
衡平ノ原則カラ斯ウ云フコトヲスルト云フ  
コトニナッタノデアリマス、サウ云フ場合  
ノ規定デアリマス

○子爵松平保男君 サウシマス政府ガ今  
オ終ヒノ損害賠償ノ請求ノ權利ヲ取得ヲス  
ルト云フコトデ、政府カラ給付ヲ受ケル、  
斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) チョット關係ガ複  
雑デスガ、政府ト被保險者ト、ソレカラ加  
害者ト三ツニナルノデアリマス、被保險者  
ガ加害者カラ危害ヲ受ケマス、ソレニ對  
シテ損害賠償ヲ受ケル、加害者ニ治シテ貫  
ハレルト云フコトニナルノデアリマス、處  
ガ被保險者ハ政府カラ給付ヲ受ケルシ、加  
害者カラモ損害賠償ヲ受ケルヤウニナリ、  
二重取リニナルカラ、ソコデ詰リ給付シテ

貰ッテ場合ハ損害賠償ヲシテ貰フ必要ハナ  
イ、加害者カラ被保險者ニ對シテ爲スベキ  
義務ハ、其ノ際ハ政府ガ被保險者ニ對シテ  
代ッテ權利ヲ取得スル、斯ウ云フ譯ナノデア  
リマス

○子爵松平保男君 其ノ次ガ三十九條ノ末  
項ノ方ニナリマスガ、是ハ此ノ所ガチョット  
分リニクイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、  
詰リ是ハ第三十九條ニ於テハ此ノ初メノ方カ  
ラ申シマス、「養老年金ノ支給ヲ受クル者  
被保險者ト爲リタルトキハ其ノ月ヨリ養老  
年金ノ支給ヲ停止ス」ソレカラ今度次ノ項  
ニ至リマシテ、其ノ停止ヲシタ者ガ更ニ又  
其ノ資格ヲ喪失シタ場合ニ、其ノ兩方ノ期  
間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ決メル、斯ウ  
ナッテ居ッテ、サウシテ今度一番末ニ行ッテ、「前  
項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ改定スル場  
合ニ於テ其ノ額ガ從前ノ養老年金ノ額ヨリ  
少キトキハ、從前ノ養老年金ノ額ヲ以テ改  
定養老年金ノ額トス」是ガドウモ前ヨリモ少  
クナルト云フ場合ハ、ドウ云フ場合デアアルカ  
ト云フコトヲチョット思フノデスガ、モウ既  
ニ養老年金ヲ受ケル資格ヲ前ニ持ッテ居ルノ  
デスカラ、ソレガ更ニ又一遍辭メテ、ソレ  
カラシテ被保險者ニナッタ場合ニ、更ニ多クハ  
ナルガラウケレドモ、少クナル場合ハドウ

云フ場合カト思ッテ、是ハ分ラヌノデスガ……  
○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通り一遍養  
老年金ヲ貰ッテ人ガ、此ノ三十九條ノ適用ヲ  
受ケテ養老年金ノ額ガ減ルト云フ場合ハ極  
メテ少イト思ヒマス、唯實際上ノ問題ハ、  
恐ラク理論上ノ問題ト思ヒマスケレドモ、  
斯ウ云フ場合ガ考ヘラレル、養老年金ノ額  
ト云フモノハ、被保險者タタシ前期ノ報酬  
ヲ標準トシマシテ、其ノ四分ノ一ヲ取ル、  
報酬ノ四分ノ一ヲ取ルノデアリマスカラ  
シテ、前ニ養老年金ヲ貰フ時ノ額ト、後ノモ  
ウ一遍就職シテ、モウ一遍計算ヲ直シタ  
時ノ場合デスガ、大體ノ場合ハ前ニ勤メテ  
居ッテ時ヨリモ、後デ勤メタ時ハ同等又ハヨ  
リ以上ノ報酬ヲ貰フノガ普通ノ場合デア  
ル、併シナガラ理論上ノ問題トシテ、實際  
上ノ問題ト云フモノハ、海運業ハ好況ノ場  
合ト不況ノ場合ノ差ガ非常ニ甚ダシイモノ  
デアリマシテ、海運業ノ非常ニ好イ時ガア  
リマスガ、他方非常ニ惡イ時ガアル、サウ  
ナリマス給料ガ下ル、假リニ前ニ百圓貰ッ  
テ働イテ居ッテ、今度ハ七十圓、六十圓ト  
云フヤウナ場合モアル、例ヘバ最近ノ例デ  
申シマス、昭和四年ガマア恐ラク一般ノ  
影氣ノ好イ絶頂デ、ソレカラ下リ坂ニナリ  
マシテ、五年、六年、七年、八年ニナリマ

スト、サウ云フ場合ニ、前ニ勤メテ居ッテ時  
ノ報酬ヨリモズット少イ報酬デ又勤メルト  
云フ場合、サウ云フ場合ニナリマスモウ  
一遍計算ヲ直スト云フト、平均報酬ト云  
フモノガ前ヨリモ低クナル、サウ云フ場合  
ガ理論上考ヘラレルシ、實際上ナイトモ言  
ヘナイ、ソコデ斯ウ云フ規定ヲ置イタノデ  
ス、實際問題トシテハ御話ノ通り殆ド適用  
ハナイト思フノデスガ、サウ云フ場合ヲ考  
ヘマシテ……

○子爵松平保男君 其ノ次ハ四十三條、是  
ハ四十三條ト四十五條ト此ノ關係ニ付テ  
ナンデアリマスガ、是ハ詰リ養老年金ト癱  
疾年金ト云フモノヲ兩方一緒ニ支給シナ  
イ、即チ四十三條ニ於テ命令ノ定ムル所ニ  
依ッテ其ノ一ヲ、ドツチカラヤル、斯ウ云フ  
風ニナッテ居ルノデアリマスガ、今度四十五  
條ニ行クト云フト「養老年金ヲ受クル權利  
ヲ有スル者ニハ癱疾手當金ヲ支給セズ」養  
老年金ヲヤッテ癱疾手當ヤラナイト云フ  
コトニナッテ居リマス、四十三條ノ「命令ノ定  
ムル所ニ依リ」ト云フ此ノ關係ガチョット分  
ラナクナルノデアリマスガ、後ノ四十五條  
ニ行ケバ癱疾手當金ヲ支給シナイデ、養老  
年金ヲヤルト云フコトガ明カニナッテ居ル  
ヤウデスガ、之ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐藤基君) チョット……四十

五條ノハ癩疾手當金デスガ、四十三條ハ癩疾年金、モノガ違フノデアリマスガ、四十三條ノ年金ハ、養老年金カ癩疾年金カドツチカラヤル、少シ問題ガ違フヤウデスガ……

○子爵松平保男君 ソレデ了承シマシタ

○政府委員(佐藤基君) チョット此ノ際、前回デゴザイマシタカ、河原田サンカラノ被保險者ノ保健施設ノ問題ニ關シマシテ御質問ガアリマシテ、政府デ答辯シタ所ニ多少喰ヒ違ガアッタノデヤナイカト思ヒマスノデ、念ノ爲ニモウ一遍申上ゲテ置キタイト思ヒマス、一般的ニ申シマシテ、政府ガ諸種ノ施設ヲスルト云フコトニ付テ、法律ガ要ルカ要ラスカト云フ問題ニ付キマシテハ、政府委員ノ申シマシタ通り法律ガナクテモ豫算ガアレバ出來ルノデアリマスガ、唯此ノ職員保險ノ問題ニ付テ、保險者ノ方ニ被保險者施設ガ出來ルト云フアノ規定ヲ置イタ場合ノ問題トシテハ、此ノ場合保險者ノ組合モアレバ、政府モ入ッテ居ル、ソコデアノ規定ヲ置イタ以上ハ、政府ガ保險者トシテ保健施設ヲスル場合ニ、アノ規定ノ拘束ヲ受ケルト云フコトデアリマス

○男爵小池武晃君 醫療ノ給付ニ付テ御伺ヒ致シマス、船員ノ醫療ノ給付ハ多クハ船員法デ行ハレルヤウデ、今回ノ法案デハ餘リ醫療ノ給付ハ出來ナイヤウナ風ニ考ヘラレマスガ、モウ少シ醫療ノ給付ヲ徹底スルヤウニ、五箇月ト云フノヲ尙延スヤウナ風ニスルコトハ出來ナイモノデゴザイマセウカ、病氣以外ニ於テハ從來ノ陸上ノ保險、陸上勤務ノ人間ノ、例ヘバ職員保險法トカ健康保險法ノ方ハ醫療ノ給付ガ主デアリマスガ、此ノ船員保險法ハ醫療ノ給付ガ副ニナッテ居ルヤウナ風ニ考ヘラレマス、從ッテ船デ治療ヲ受ケテ、陸上ノ治療ヲ受ケル者ガ少イノデヤナイカ、併シ重症ノモノハ随分出來ルカモ知レマセスガ、サウ云フモノニ比較的長ク治療ヲシテヤルト云フ風ナ御考ハナイデアリマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御話ノ通り船員ニ於キマシテハ、船員法ノ規定デ、船主ハ三箇月間療養ヲ義務的ニヤルノデアリマシテ、大體船内ニ於テハ船主ノ方ノ療養ヲ要スルコトニナッテ、保險ハ適用スルコトハナイノデス、ソコデ保險ノ適用ノアルノハ三箇月治療シテ尙治ライモノヲ、此ノ法律デヤル、斯ウ云フコトデアリマス、極メテ補充的ナ規定ニナッテ居ル、實際ニ於キマシテ現在船主ガ三箇月治療シマシテ、其ノ後尙病院ニ居ッテ、四箇月モ五箇月モ治

療シテ居ル實例ガアルノデアリマス、是等ハ此ノ法デ六箇月ヤレバ、大體ニ於テ救済ガ出來ル積リデ居リマス、尙此ノ規定ニモ、主務大臣ガ指定シタ場合ハ一年延長スルト云フ途ガアリマスカラ、斯クノ如キモノハ尙六箇月治療スルト云フコトニシタイト思ッテ居リマスカラ、大體是デ治療ノ方ハ先ヅ完全ニ行クノデヤナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵小池正晃君 サウスルト矢張り醫療ノ給付ヲ契約スル醫師ニ對シマシテ、今迄ノ健康保險法ト違ッテ、契約ノ仕方モ陸上ノ醫師ガ負擔スル義務ガ少イヤウニ思ヒマスガ、方法ハ何等カ違フノデスカ、醫師ニ對スル契約ノ仕方ハ……

○政府委員(進藤誠一君) 是ハ從來ノ健康保險法ト同ジヤウニ、醫療ガ現物給付デアリマシテ、大體同ジヤウニヤル積リデアリマス、職員保險ノ方トハ多少違ヒマス

○男爵小池正晃君 サウスルト、從來日本醫師會ト御契約ヲ爲サッテ居ル様子ヲ見マスト、一人ニ付テ幾ラト云フ風ニ最初御決メニナッテ居ルヤウデスガ、矢張り今度モサウ云フ風ニナルノデスカ

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ契約ノ方法ニ付キマシテハ、實行方法ニナリマスノデ、

マダ私共能ク考ヘテ居リマセスガ、只今御質問ノヤウニ矢張り幾ラカ違フヤウナコトニナルカト思ヒマス、人頭式ノ請負ト云フコトデナシニ、或ハ定額デ契約スルト云フコトニナルカト思ヒマス

○子爵富小路隆直君 今醫療ノ給付ノコトデ御尋ガアリマシタガ、ソレニ關聯シテ伺ヒマス、前ニモ御尋ガアッタヤウニモ思ヒマスガ、問題ニナッテ居ルノハ、船員保險法ハ家族ノ醫療給付ガ除外サレテアル、併シ是ハ海上生活者ト云フモノハ、此ノ間カラ御話ノ通りニ家庭カラ離レテ居ル、家族ノ病氣ト云フコトハ普通ノ人一倍心配スル、又薄給者ハナカク其ノ病氣ヲ醫者ニ掛ケルトカ何トカ云フコトガムツカシイ、此ノ方ガ尙一層普通ノ保險ヨリモ意味ニ於テハ必要デアルヤウニ思フノデスガ、今ノ所此ノ船員保險ハ、醫療給付ト云フヨリハ年金ノ方ニ重キヲ置タ、醫療給付ハ船員法ニ於テモ船主ガヤルヤウニナッテ居ル、此ノ法デハ其ノ以外ノコトヲ此處デヤルノダト云フヤウナ御話ガアッタヤウニ思ヒマス、然ラバ家族ノ給付ト云フコトハ、財政上ノ理由デアラセラレルヤウデスガ、モウ全然御考ヘニナライノデスカ、近キ將來ニ於テ矢張りオヤリニナル積リデスカ、ドウ

デスカ

○政府委員(進藤誠一君)

此ノ船員保險ノ所謂疾病保險ノ方面ニ於キマシテ、從來ノ健康保險ト違フ點ハ、只今御シヤイマシタ家族ヲ除外スルコトモウツハ分婉トカ出產トカ云フコトガ全然ナイコト、是ガマア非常ニ違ヒマス、此ノ一方ノ分婉、出產ノナイコトハ、女子ノ船員ト云フ者ハモウ殆ド無イ、極メテ少數居リマスガ、是ハモウ船員ト言ヘナイヤウナ程度ノ者デアリマシテ、必要アルマイト云フコトデヤライナノデアリマス、家族ノ方ヲ除キマシタノハサウ云フノト違ヒマシテ、必要ハ認メテ居ルノデゴザイマス、唯船員ニハ獨リ者ガ多イノデゴザイマス陸上ノ者ヨリモ……、ソレデ家族ノ方モ幾ラカ陸上ノ労働者程ニハ數カラ云ヘバ必要ガ少イト云ヘマスガ、併シ必要ノ度合カラ云ヒマスレバ、只今御質問アリマシタヤウニ家庭ヲ離レテ居ルノデ、家族ハ固ヨリ孤獨ニ殘サレテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ對シテ給付シテヤルコトガ必要デアルト云フコトハ、誠ニ御質問ノ通りデアリマス、ソコデ之ヲ除キマシタノハ全ク保險ノ經濟、言ヒ換ヘレバ保險料ノ負擔ノ方カラ已ムヲ得ズ除外シタノデアリマシテ、此ノ保險料ハ年金等ガアリ

マス爲ニ約給料ノ一割ニナル、一圓ノ日給ノ者ハ十錢ニ當リマス、ソレハ船員ト船主ト兩方デ持ツノデアリマスケレドモ、何レニシテモ一割ト云フ保險料ハ非常ニ負擔ガ大キイ、尙ソレニ家族ヲヤルコトニナリマスト、一割ヲ餘程超エルノデアリマス、一割二三分位ニナルノデアリマス、ソレハドウモ餘リニ負擔ガ大キクテヤリキレヌノデヤナイカト云フノデ、已ムヲ得ズ一應家族ヲ除イタノデアリマスケレドモ、將來ニ於キマシテハ何トカシテ此ノ家族ヲ入レルヤウニシタイ、ソレニ付キマシテハ私共ト致シマシテハ、保險料ヲ上ゲテ家族ヲ入レルト云フコトハ相當ムヅカシイダラウト思ヒマシテ、此ノ保險料デ何トカ此ノ家族ヲモ入レルト云フヤウナ風ニ、成ルベク經濟的ニ運用致シマシテ、ウマク行クナラバ此ノ保險料ノ儘デ、上ゲズニ家族ヲモヤリ得ルヤウナ時機ガ來ルノデヤナイカ、サウ云フヤウナ時機ノ成ルベク早く來ルヤウニシテ、家族ヲヤッテ行クヤウニシタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○子爵富小路隆直君 今御話ノ此ノ海員ト申シマスカ、海員ハ獨リ者ガ多イト云フ御話デスガ、サウスルト家族タルモノガ少ケレバヤッテモ宜インデヤナイデスカ

○政府委員(進藤誠一君)

數字ハ持チマセヌガ、實ハ家族ハ多少少イノデアリマスケレドモ、被保險者一人ニ對シテ家族ハ三人位アリマシテ、三倍ニナルノデアリマス、ソレデ矢張り相當ナ負擔ニナルノデアリマス

○委員長(男爵大森佳一君)

大臣ハモウ暫クシマスト、衆議院ノ方ニドウシテモオイデニナラナケレバナラヌサウデアリマスカラ、大臣ニ對スル御質問ハ成ルベク早く、サウシテ短時間ニ御願ヒヲシタイト思ヒマス

○松岡潤吉君 昨日此ノ本案ノ年齢ヲ五十歲ニ制定サレタ理由ニ付テ御説明ヲ伺ッタノデアリマスガ、自分ハ徹底シタ了解ガ出來マセヌ、自分ハ五十五歲ニサレルコトガ最モ妥當ト考ヘマスノデ、其ノ理由ニ付テ私ハ是カラ四點ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ、船主ノ自社規定ニ依ル退職年限ハ、多クノ場合五十五歲ヲ標準トシテ居リマスノデ、之ヲ適用セシメルコトガ合理的デアラウト考ヘマスルノガ第一ノ理由、ソレカラ第二ニ、海員ノ保護制度ノ最モ進歩シタ英國ニ於キマシテモ、斯カル場合ハ大體ニ於テ六十歲ヲ標準ニシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ガ第二ノ理由、第三ノ理由トシテ、五十歲デ

年金ヲ給付スルト云フ場合ニ、船員ノ大部分ガ上陸ヲスルヤウナ弊ヲ懸念スルノデアリマス、ソレカラ最後ニ第四ノ理由トシマシテハ、五十歲以上ノ船員ト云フモノハ、申ス迄モナク技術ノ習練者デアリ非常ナ經驗者デモアル、且高級ナ立場ニアリマスノデ、是等ノ高級船員ガ陸上ニ上ルト云フコトハ、將來人的資源ノ強化ヲ非常ニヤカマシク言ウテ居リマスル趣旨ニモ反スルカト思ヒマス、此ノ四ツノ理由デ私ハ五十歲ヲ五十五歲ニサレルコトガ妥當デナカラウト考ヘルノデスガ、此ノ邊ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 養老年金ノ開始時期五十歲ハ、五十五歲ノ方が色々ノ理由カラ適當デナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、此ノ五十五歲ニ致シマスコトハ、前ニモ一通リ申上ゲタト思ヒマスガ、尙只今一々御理由ヲ御擧ゲニナリマシタ點ニ付キマシテ、私共ノ考ヘテ居リマスルコトヲ申上ゲマスト、マア勞資協定ノ方デ五十五歲トナッテ居ルト言ハレマスルガ、ソレハ私ノ方カラ別ニ御意見ハ申上ゲマセヌガ、第二ノ英國デ六十歲ニナッテ居ル、此ノ點ニ付キマシテハ、外國ハ總テノ點ニ於テ養老年金デモ恩給デモ皆年齢ガ高イノデアリマス、

是ハ外國デハ總テ日本ヨリモ非常ニ長ク働ク  
ト云フ習慣ガアリマスノト、ソレカラ壽  
命ガ長イ、是ハ此處ニ差上ゲマシタ資料ノ中  
ニ各國ノヲ書イテアリマスガ、相當ニ違フノ  
デアリマス、唯「フランス」ヲ如キハ平均壽命ガ  
比較的歐米各國ノ中デハ低イ、サウ云フ國デ  
ハ矢張り五十歳ニナツテ居リマス、日本デハ平  
均壽命ト云フモノハ段々將來上ツデハ來マ  
セウガ、現在ノ所ハ低イノデアリマシテ、  
サウ云フ點モアリ、又日本デハ此ノ五十五  
六歳、六十歳位迄勞働スルト云フノハ實際  
上餘程困難ナ事情ガアルヤウデアリマシテ、  
大體五十位、殊ニ筋肉勞働ヲ主トスル者ハ  
其ノ位ガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、  
ソレカラ其ノ次ニ養老年金ノ開始時期ヲ五  
十歳ニスレバ、海員ガ上陸スルヤウナコト  
ニナツテ、却テ優秀ナ海員ヲ長ク海上ニ勤メ  
サスト云フコトカラ支障ニナリハシナイカ  
ト、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ點ハ  
現在ノ海員ガ何歳デ辭メルカト云フコトヲ  
見マスルト云フト、此處ニ統計ガアリマス  
ガ、殆ド四十、四十五迄ニ辭メテシマフノ  
デアリマス、約三萬人ノ退職者ニ付テ見マ  
シテ五十歳以上、五十歳カラ五十五歳ノ間  
デ罷メル者ハ八百人、ソレカラ五十五歳カ  
ラ六十歳迄ノ間ノ者ハ六百人、六十歳以上

デ罷メル者ハ五百人、其ノ他ノ殆ド大部分、  
三萬人ノ中ノ二萬九千何百迄ハ五十歳以下  
デ皆罷メテ居ル狀況デアリマス、ノミナラ  
ズ四十以下、或ハ三十五以下デ罷メテ居  
ル者ノ方ガマダ多イノデアリマス、ソコ  
デ今度此ノ年金制度デ五十ト云フ制限ヲ設  
ケマスルコトハ、現在ノ狀況ニ於キマシテ  
ハ五十迄ハ勤メルト云フコトノ獎勵ニナル  
ノデアリマシテ、現在ノ海員ノ狀態ニ於テ  
ハ非常ニ是ハ寧ロ勤續獎勵上有效ナ制度ト  
ナルノデアリマス、弊害ヲ生ズルト云フヤ  
ウナコトハ考ヘラレナイノデアリマス、ソ  
レカラ尙養老年金ノ開始時期ヲ五十ニシタ  
爲ニ、五十ニナレバ罷メルト云フコトニナ  
ラスカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ此  
ノ前ニ申上ゲマシタヤウニ、サウハナラス  
ト思フノデアリマシテ、五十ニナレバ年金  
ガ付クト云フノデアリマスガ、ソレ以上長  
ク居レバ居ル程、一箇年ニ付テ百分ノ一宛  
殖エル、此ノ殖エル率ハ官吏ノ恩給ヨリハ  
多イ歩合ニ相成ツテ居リマシテ、寧ロ一年デ  
モ二年デモ長ク居ル方ガ有利ナノデアリマ  
シテ、五十歳デ、詰リ二十年モ居ツテ五十歳  
デ罷メタト云フ場合漸ク給料ノ四分ノ一ナ  
ノデアリマシテ、二十圓ニモ足ラヌ金ナノ  
デアリマス、是ハ年金トシテ生活費ニ十分

トハ言ヘナイノデアリマシテ、矢張り五十  
五歳ナリ、モット長ク居ツテ、小クモ官吏ノ恩  
給ノヤウニ三分ノ一位ノ金ヲ年金トシテ貰  
フト云フ頃迄勤メルト云フコトガ必要ナノ  
デアリマシテ、矢張り五十歳ニナツテモ、ソ  
レ以後ニ勤メルト云フ風ナ習慣ニナルダラ  
ウト思フノデアリマシテ、此ノ制度ガ出來  
タ爲ニ早ク海員ヲ切上ゲテ、陸上ニ上ルト  
云フヤウナ氣風ヲ醸成スル懸念ハナイト、  
斯様ニ考ヘマス  
○濱口儀兵衛君 チョット今ノコトニ關聯シ  
テ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、今ノ……外  
國デハ六十歳トカデ日本ヨリハ年金ヲ貰フ  
コトガ遅クナルノデスガ、マア日本人ト體  
質ガ違フカラト云フヤウナ御話ガアッタノ  
デアリマスアレドモ、今日日本デモマア追々  
ソナナ今迄ノ狀態ト違ツテ、年寄ツタ者ガ隨  
分働キツ、アル情勢ニアルノデアリマス、  
他日日本人ガモット健康ガ増シテ來タ時ニ、  
一旦五十ニシテシマフト五十五ニ延スト云  
フコトハ、サウ云フ風ナコトハムツカシイ、  
五十五歳ノモノヲ五十歳ニスルノハシ易イ  
ト思ヒマスガ……  
○委員長(大森佳一君) 濱口サンハ大臣ニ  
御質問ナノデスカ、大臣ハ大變アチラデ要  
求ガアルヤウデアリマスカラ……

○濱口儀兵衛君 大臣ハ宜シウゴザイマ  
ス……ソナナ風ニ後デ之ヲ緩和スル方ハヤ  
リ易イケレドモ、マア日本人ノ體質ガ向上  
シテ來タ爲ニ、五十五歳ニ増スト云フ風ナ  
コトハ出來ナイヤウデスカラ、最初拵ヘル  
時ニハ寧ロ少シ延シテ置イテ、サウシテ必  
要ニ依ツテ五十五歳ヲ五十歳ニスルト云フ  
風ニスル方ガ實際的デヤナイカト思フノデ  
ス、今統計表ノ御話モアッタノデスガ、今ノ  
五十歳ヲ越シテ居ル人ガ初メテ船員ニナツ  
タ時分ト、今ノ日本ノ船員ノ數ニ對スル比  
例カラ言フト、矢張り是ハ相當ナ割合ニナ  
ルノデヤナイカト思フノデス、今ノ海員ノ  
數ハ其ノ當時ヨリモモット殖エテ居ル、此ノ  
統計表デハ率ガ少シ違フノデヤナイカト思  
フノデスガ、ソレニ付テ御考ハ如何デゴ  
ザイマセウカ  
○政府委員(進藤誠一君) 養老年金開始時  
期ノ五十歳ノ問題デアリマスガ、尙一ツ私  
共ノ考ヲ申上ゲマス、日本ノ陸上其ノ他全  
體ノコトヲ議論致シマス、五十五歳ガ宜イ  
カ、五十歳ガ宜イカト云フコトモ相當問題  
ニナルト思ヒマス、併シナガラ海上勤務ノ  
實情カラ申シマス、假令陸上ガ五十五歳  
デ宜イト致シマシテモ、海上ハ五歳位下ゲ  
テ五十歳位ガ宜イト、斯ウ云フ結論ニナル

ノデアリマス、ソレハ海上勤務ノ非常ニ過  
激ナ現状カラ申シテ、モウ五十ニモナレバ  
働ケナイト云フノガ實情デアリマシテ、今  
モ申上ガマシタガ、火夫、水夫ノ如キハ四十  
歳ヲ停年ニシテ居ル、ソレカラ或ハ四十五  
歳、高級ノ者ハ五十歳、斯ウナツテ居ルノ  
デアリマシテ、ソコデ若シ之ヲ五十五歳ニ  
致シマスと云フト、五十五歳迄勤メラレル  
ナラバ差支ナイノデアリマスガ、退職ハ矢  
張り依然トシテ今ノヤウニ四十歳、四十五  
歳、是ハ過激ナ労働デアリマスカラ、ソレ  
以上働ケナイト云フノ四十歳、四十五歳  
ト云フコトニナリマス、サウシテ五十五歳  
ト云フコトニナリマス、仕事ヲ罷メテ陸  
上ニ上ツタ、五年十年ハ待期ガアツテ年金ハ  
貰ヘナイ、斯ウナリマスと此ノ間ノ生活ニ  
困ル、僅カ三年トカ五年トカ云フ間ナラ  
バ、先程モ申上ガマシタヤウニ一時金モアル  
シ、ドウニカ小使デモ給仕デモヤツテ働ク  
ト云フコトガアリマスガ、十年モ違フ、若  
シ四十歳罷メテ五十五ト云フコトニナル  
ト、十五年モ年金ヲ貰ヘズニ陸上ニ居ルト  
云フコトハ、年金制度ヲ以テ海員ヲ保護ス  
ル趣旨カラ言フト、極メテ酷ナモノニナル  
ノデアリマス、海員労働ノ現状カラ申シテ四  
十歳四十五歳罷メタル者ガ多イト云フコト

カラ見テ、五十歳ニ年金ヲ開始スルト云フ  
コトハドウシテモ必要ダラウト斯様ニ思フ  
ノデアリマス

○濱口儀兵衛君 私ハ船ノコトニ付テ多ク  
知リマセヌカラ、陸上トシテサウ云フコト  
ヲ申スノデゴザイマスガ、從ツテ外國ノ方デ  
モ養老年金ヲ貰フ時期ガズツト長イ、大分年  
寄ツテカラノコトデスガ、海上ハ矢張り外國  
デモ同ジク日本ノヤウニ早く開始スル必要  
ガアルノデセウカ、外國ノ方ハ體質ノ關係  
上長ク、矢張り相當ノ年迄從事シテ居ルノ  
デハナイカト思ヒマスガ、日本モドツチカト  
云フト追々ニサウ云フ風ニ早く海員ヲ罷メ  
ルト云フ人ガ幾分力減リツ、アルモノデハ  
ナイカト云フヤウニ想像スルノデスガ、今  
統計表ダケデ之ヲ拜見シタラ御説ノ通りニ  
ナルノデスケレドモ、之ヲ年々ノズツト過去  
十年ノ間ノ徑路ヲ見タラ、海員總體ニ對シ  
テ若クテ退職スル人ハ變ツテ來テ居ルノデ  
ハナイデスカ、サウ云フヤウナ者ハ追々  
減ツテ來テ、割合ニ年寄ツテ働イテ居ル者ガ  
殖エツ、アルノデハナイカト云フ風ニモ考  
ヘル、サウシテ先程カラ申上グルヤウナ風  
ニ、必ズ五十五ガ宜イトモ申上グル譯デハ  
ナイノデスケレドモ、斯ウ云フヤウナ方面  
ノ種類ヲ先日來モ大臣カラ度々御話ガアツ

タ通り、漸進主義デ行カウト云フ風ナ御意  
見デアル、デ一旦斯ウ低イ年決メテ置ク  
ト、ソレガドウモ日本人ノ體質ガ強クナツテ  
來テ、サウセヌデ宜クナツタカラト云ツデモ、  
再ビソレヲ五十五歳ニ變ヘル譯ニ行カヌノ  
デ、漸進主義ト云フコトカラ考ヘマシテ、  
矢張り五十歳ヲ五十五歳ニシテ置イタラド  
ウカト云フ風ニモ思ハレルノデスガ、如何  
デセウカ其ノ點ハ……

金ガ取レルト云フ場合ニハ、長ク海上ニ居ル  
ヨリモ陸上ニ來テ、家庭生活ノ出來ル所デ  
樂ナ仕事デ金ガ儲カルト云フノガアルカラ、  
其處ニ逃ゲテ行ク、是ガ海運國策カラ言ツテ  
モ非常ニ宜シクナイ、今日政府デハ海運業  
ヲ今後七百萬「トン」トカト云フ風ニ發展サセ  
テ行ク、是ハ國防上カラモ、日本ノ産業上  
カラモ、色々ナ點カラ必要デアリマスガ、  
ソレニ必要ナ一方ニ人的資源デアル船員ト  
云フモノヲ得ルト云フコトニ、現在船員ガ  
足ラスデ困ツテ居ル、新シク船員ヲ得ルコト  
ニモ困難シテ居ル、況ヤ現在ノ優秀ナ船員  
ヲ陸上ニ逃ゲナイヤウニシナケレバナラス  
ト云フヤウナ政策モアリマシテ、海上勤務  
者ニ對シテハ矢張り陸上ヨリモ違ツタ、長ク  
安ンジテ海上ニ働キ得ルト云フヤウナ制度  
ヲヤツデヤル必要ガアル、其ノ方面ノ必要カ  
ラ申シマシテ、餘リニ五十五歳ト云フヤウ  
ナ懸ケ離レタモノデ作ルコトデハ、其ノ方  
ノ目的ニ副ハナイコトニナリハシナイカ、  
養老年金ヲヤルナラバ五十歳ト云フコトデ  
ナイト效果ガナイト思フノデアリマス

○濱口儀兵衛君 只今申上ガタヤウナ風ニ、  
退職スル年齢トカ海員ノ數ノ比例、過去何  
年間ノ例ガアルカ、御調ガアルナラ拜見  
致シタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 船員デモ段々ニ  
長ク働クヤウニナルノデハナイカ、斯ウ云  
フ御話デアリマスガ、陸上勤務者ニシマス  
ト、日本人モ昔ヨリハ段々老人ガ働クヤウ  
ニナツタコトハ事實デアリマス、處ガ船員  
ニ於キマシテハ、サウ云フ傾向ヨリモ他ニ  
特殊性ガアリマシテ、船員ニナルノハ、家  
庭ヲ離レテ非常ニ不自然ナ生活ヲスルノダ  
カラ、成ベクナリタガラス、陸上ニロガア  
レバ陸上ニ行ク、陸上ニロガナイ場合ニハ  
已ムナク船員ニナル場合ガ多イ、ソコ  
デ一旦海上船員ニナツテ働クニシテモ、少  
シ陸上ニ何か好イロガアレバ、成ルベ  
ク早く陸上勤務ニ轉向シタイト云フノ  
デ、陸上ニ逃ゲテ行クト云フ傾向ガアリ  
マスルノデ、今日ノヤウニ陸上ニ軍需景  
氣アタリデ職工デモ何デモ景氣ガ好クテ

致シタイト思ヒマス



ニハ、勞働者ノ停年ト云フコトニ付テハ別ニ考ヘテハ居ラナイノデアルト云フコトデアリマス

○子爵富小路隆直君 此ノ只今問題ニナツテ居リマス海員ニ付テ、火夫ハ大體何年ト何歳位ト云フヤウニ定ツテ居ル、ト云フヤウナ一例ヲ此ノ間御舉ゲニナリマシタデスガ、何デモ四十歳トカ、四十五歳位ノ人ガ大分アツタヤウデアリマス、サウシマス五十歳ニナラナイト年金ガ貰ヘナインデスカ、サウ云フ人ハ五年ナリ何年カノ間ドウシテヤツテ行クノデスカ、ソレト云フノハ、ナカ／＼陸上ニ於テ職業ヲ求メルト云フコトハムツカシイ、今日ハ別デスケレドモ、平時ニ於テサウ云フ點ガアリマスノデ、食ヒ繫ギト云フコトガナカ／＼困難ニナツテ來ハシナイカト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) サウ云フ點カラ申シマス、現在政府ノ共済組合ナドハ寧ロ低ク、四十歳四十五歳ト云フ風ニシテ居ルノデアリマシテ、低イ方ガ宜イノデアリマス、ケレドモ一面餘リ低クテ年金ヲヤルト云フコトハ又宜クナイコトモアルノデ、考ヘナケレバナラスノデアリマスルガ、昨日申上ゲマシタ火夫、水夫ノ停年四十ト申シマシタノハ、政府ノ法制定メタノデ

ハナイノデアリマシテ、船主船員間ノ協定、團體協約ニ依ツテ大體サウ定メタノデゴザイマス、併シ四十歳トナツテ居ルカラ、四十歳ニナレバ皆首ヲ鹹ルト云フヤウナモノデハナイノデ、停年ト云フノハ一種ノ標準デアリマシテ、ソレニ基イテ退職資金ガ協定ガ出來テ居リマス、其ノ年齢ニナレバ全部罷メサスト云フコトデハアリマセヌカラ、況ヤ今日ノ如ク海運界ヲ大イニ發展サシテ、人ヲ要スル、足ラヌト云フ時代ニハ、無論四十以上ノ者ガ澤山乗ツテ居ルシ、又之ヲ無論解雇スルト云フコトハナイノデアリマス、實際ニ於テハ待期ハサウ長クナラヌデ行ケルノデヤナイカト思ヒマス

○子爵富小路隆直君 モウ少シ今ノ御説明ハアリマセヌカ

○政府委員(佐藤基君) 年齢ノ點デゴザイマスガ、前段ニ申上ゲマシタノハ、海軍協同會ノ規約デゴザイマシテ、海軍協同會ニ於キマシテハ、普通船員ト高級船員ニ付キマシテ、退職手當ノ規定ヲ決メテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマシテ一定ノ年齢迄勤メマシテ、其ノ年齢ヲ停年トシマシテ、停年以後ニ於テ止シタナラバ、退職手當ノ全額ヲ給スルト云フコトニナツテ居リマス、其ノ停年ト云フコトヲ幾ラニ定メルカト云

フコトハ、受持ノ職能ニ鑑ミマシテ、非常ニ過激ナ勞働ヲスルト云フヤウナ者ハ、停年ヲ低クシナイト非常ニ苛酷ニナルト、ソレデ割ニ樂ナ仕事、言ヒ換ヘレバ筋肉勞働ト頭腦勞働ニ分ケレバ、筋肉勞働ノ分子ノ非常ニ多イモノハ停年ヲ低クスル、頭腦勞働ガ非常ニ多イモノハ停年ヲ高クスルト云フ標準デ、恐ラク出來テ居ルト思ヒマスガ、例ヘバ一番低イノハ四十歳デアリマスガ、是ハ所謂雜役ヲスル者デアリマシテ、サウ云フモノハ四十越スト殆ド雜役夫トシテ働クコトガ普通ノヤウニ出來ナイ、ソレデカラシテ退職シタ場合ニハ退職手當ノ全額ヲヤルト云フコトニナツテ居ルノデ、ソレハ結局其ノ仕事トシテ普通人ノ働ケル最高限、ト言フト少シ極端カモ知レマセヌケレドモ、普通人ノ働ケル限度ヲ示シタモノデ、是以上ハナカ／＼働ケナイト云フコトニナルノデス、然ラバ今ノ御話ノ四十歳ニナツテ若シ停年ニナツタラ罷スト云フノハ、必ズ止スノデハアリマセヌノデ、止セバ全額ヲ貰ヘルト云フコトニナルノデス、多クノ場合四十歳位ニナルト、ソレヨリ停年ノ高イ、即チ筋肉勞働ノ分子ノ多少少イ勞働ニ替ッテ行クト云フノガ實際問題デアリマシテ、從ッテ雜役デ働イテ居ッタノガ例ヘバ水夫長ニナ

ルトカ、火夫長ニナル、サウスルト勞働ガ樂ニナリマスカラ、停年モ五十二ナリマス、サウ云フ關係デ多クノ者ハ四十歳ニナツタラ皆止スト云フ譯デハナイノデ、止セバ退職手當ヲ全額貰フ、止サナイ場合ニハ依然トシテ其ノ勞働ヲ續ケルナリ、或ハモウ少シ勞働ノ樂ナ所ヘ替ッテ行クト云フコトニナル譯デアリマス、ソレニ致シマシテモ五十歳前ニ於テ止スト云フ場合ガナイトハ言ヘナイ、今度ノ制度ニ於キマシテモ五十歳前ニ罷シタ者ハ、五十歳ニナツテカラ年金ヲヤルト云フコトニナツテ居リマス、然ラバ待ツテ居ル間ハ氣ノ毒デナイカト云フ御話モアリマスガ、見方ニ依ツテハ氣ノ毒デアリマス、保護ヲ徹底スルナラバ、待ツテ居ル間ノ者ニ付テモ保險トシテ給付スルノハ適當カト思フノデアリマス、併シナガラ保險ト云フモノハ、其ノ人ニ給付スルケレドモ、其ノ財源ト云フモノハ、其ノ人ノ掛ケタ金ノミデナク、共同ノ資金カラヤルノデアリマス、ソレカラ又一部分ハ國費カラ支辨スルノデアリマス、共同ノ資金カラ支辨スルコトニナリマス、大體ノ人ハ相當年取ツテカラ給付ヲ受ケル、或人ハ若イガ罷シテ、極メテ若イ中カラ給付ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナリマスソコニ不公平ト云フ問題ガ考ヘ

ラレマス、或人ハ非常ニ若クシテ國費ノ給付ヲ受ケル、國費ノ給付ヲ受ケルト云フコトハ、即チ要スルニ一般人ノ負擔デ出來ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ關係デ、餘程ノ事由ガナイ限り、他人ヨリモ不當ナ、ト言フト言葉ガ少シ過ギルカモ知レマセヌ

カヲ失フト云フコトモ考ヘラレナイ、サウ云フ風ナ點モ併セテ考ヘマシテ、五十歳ニ開始シマシテ、五十未滿デ罷シタ人ハ、假令十五年勤メテ居ッテモ、五十迄待ッテ貰フト云フコトニシタ譯デアリマス

海上生活者ニ對スル保護デアリマス、處ガ又一面各船會社カラ申シマスレバ、自分ノ會社デ使用スル船員ニ對スル福利施設、保護施設トシテ亦考ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレデ現在ノ勞資協定ノ退職賜金ハ、特定ノ會社ニ何年居ッたらバヤル、何歳迄居ッたらバヤルト云フコトノ規定デアリマシテ、サウ云フ方面ハ又是非必要ト思ヒマス、ソレデ二ツハ無論相並ンデ存續スベキデアラウト思ヒマス、ソレカラ又此ノ年金ニハサツキカラ問題ニナッテ居リマシテ、是ハ四十歳罷メテモ五十歳カラデナイト貰ヘナイ、其ノ間ノ繋ギハナイノデアリマス、ソコデソレニ對シテハ會社カラ貰フ退職賜金デ以テ、何カ陸上デ仕事ヲ求メテ行クト云フコトガ必要デモアリ

○子爵富小路隆直君 尙御伺ヒシタイノデスガ、斯ウ云フコトヲ政府ノ方ニ伺ッテ宜イカドウカ、少シ不適當カモ知レマセヌガ、所謂退職年齡ヲ大會社ナンカ決メテ居ルト云フノハ、長ク居レバ段々高級ニナル、而モ勞働能率ガ擧ラナクナルカラシテ、成ルベク早く相當ノ時期ニ於テ罷メサシテ、給料ノ安イ勞働能率ノ擧ル者ヲ使フト云フ意味モアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ハアルノデセウカ、ドウデセウカ

アリマス、サウ云フ風ニ給付ノ出來ナイコトヲ考ヘレバ、相當酷ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ガ又一般人ト考ヘマシテ、五十未滿デ罷シタ者ガ、五十歳迄ハ全然所得ノ獲得能力ガナイモノカドウカト云フコトガ問題デス、全然所得ノ獲得能力ガナイト云フコトニナレバ、是ハ考ヘナケレバナラス、併シナガラサウ云フ場合ニ於キマシテハ、救護法トカ一般ノ法制デ考ヘラレルンデ、此ノ保險デ考ヘラレルモノデヤナイ、ノミナラズ五十歳迄ハ何トカヤッテ行ケルダラウ、非常ニ年齡ガ高クナリマスト云フト、其ノ點ハ非常ニ困難ト思ヒマスガ、マア五十歳迄ハ船員ノ從來ノ生活カラ考ヘテ、相當困難デアラウガ、マルキリ所得ノ獲得能

力ヲ失フト云フコトモ考ヘラレナイ、サウ云フ風ナ點モ併セテ考ヘマシテ、五十歳ニ開始シマシテ、五十未滿デ罷シタ人ハ、假令十五年勤メテ居ッテモ、五十迄待ッテ貰フト云フコトニシタ譯デアリマス

海上生活者ニ對スル保護デアリマス、處ガ又一面各船會社カラ申シマスレバ、自分ノ會社デ使用スル船員ニ對スル福利施設、保護施設トシテ亦考ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレデ現在ノ勞資協定ノ退職賜金ハ、特定ノ會社ニ何年居ッたらバヤル、何歳迄居ッたらバヤルト云フコトノ規定デアリマシテ、サウ云フ方面ハ又是非必要ト思ヒマス、ソレデ二ツハ無論相並ンデ存續スベキデアラウト思ヒマス、ソレカラ又此ノ年金ニハサツキカラ問題ニナッテ居リマシテ、是ハ四十歳罷メテモ五十歳カラデナイト貰ヘナイ、其ノ間ノ繋ギハナイノデアリマス、ソコデソレニ對シテハ會社カラ貰フ退職賜金デ以テ、何カ陸上デ仕事ヲ求メテ行クト云フコトガ必要デモアリ

○子爵富小路隆直君 尙御伺ヒシタイノデスガ、斯ウ云フコトヲ政府ノ方ニ伺ッテ宜イカドウカ、少シ不適當カモ知レマセヌガ、所謂退職年齡ヲ大會社ナンカ決メテ居ルト云フノハ、長ク居レバ段々高級ニナル、而モ勞働能率ガ擧ラナクナルカラシテ、成ルベク早く相當ノ時期ニ於テ罷メサシテ、給料ノ安イ勞働能率ノ擧ル者ヲ使フト云フ意味モアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ハアルノデセウカ、ドウデセウカ

アリマス、サウ云フ風ニ給付ノ出來ナイコトヲ考ヘレバ、相當酷ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ガ又一般人ト考ヘマシテ、五十未滿デ罷シタ者ガ、五十歳迄ハ全然所得ノ獲得能力ガナイモノカドウカト云フコトガ問題デス、全然所得ノ獲得能力ガナイト云フコトニナレバ、是ハ考ヘナケレバナラス、併シナガラサウ云フ場合ニ於キマシテハ、救護法トカ一般ノ法制デ考ヘラレルンデ、此ノ保險デ考ヘラレルモノデヤナイ、ノミナラズ五十歳迄ハ何トカヤッテ行ケルダラウ、非常ニ年齡ガ高クナリマスト云フト、其ノ點ハ非常ニ困難ト思ヒマスガ、マア五十歳迄ハ船員ノ從來ノ生活カラ考ヘテ、相當困難デアラウガ、マルキリ所得ノ獲得能

力ヲ失フト云フコトモ考ヘラレナイ、サウ云フ風ナ點モ併セテ考ヘマシテ、五十歳ニ開始シマシテ、五十未滿デ罷シタ人ハ、假令十五年勤メテ居ッテモ、五十迄待ッテ貰フト云フコトニシタ譯デアリマス

海上生活者ニ對スル保護デアリマス、處ガ又一面各船會社カラ申シマスレバ、自分ノ會社デ使用スル船員ニ對スル福利施設、保護施設トシテ亦考ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレデ現在ノ勞資協定ノ退職賜金ハ、特定ノ會社ニ何年居ッたらバヤル、何歳迄居ッたらバヤルト云フコトノ規定デアリマシテ、サウ云フ方面ハ又是非必要ト思ヒマス、ソレデ二ツハ無論相並ンデ存續スベキデアラウト思ヒマス、ソレカラ又此ノ年金ニハサツキカラ問題ニナッテ居リマシテ、是ハ四十歳罷メテモ五十歳カラデナイト貰ヘナイ、其ノ間ノ繋ギハナイノデアリマス、ソコデソレニ對シテハ會社カラ貰フ退職賜金デ以テ、何カ陸上デ仕事ヲ求メテ行クト云フコトガ必要デモアリ

○子爵富小路隆直君 尙御伺ヒシタイノデスガ、斯ウ云フコトヲ政府ノ方ニ伺ッテ宜イカドウカ、少シ不適當カモ知レマセヌガ、所謂退職年齡ヲ大會社ナンカ決メテ居ルト云フノハ、長ク居レバ段々高級ニナル、而モ勞働能率ガ擧ラナクナルカラシテ、成ルベク早く相當ノ時期ニ於テ罷メサシテ、給料ノ安イ勞働能率ノ擧ル者ヲ使フト云フ意味モアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ハアルノデセウカ、ドウデセウカ

アリマス、サウ云フ風ニ給付ノ出來ナイコトヲ考ヘレバ、相當酷ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ガ又一般人ト考ヘマシテ、五十未滿デ罷シタ者ガ、五十歳迄ハ全然所得ノ獲得能力ガナイモノカドウカト云フコトガ問題デス、全然所得ノ獲得能力ガナイト云フコトニナレバ、是ハ考ヘナケレバナラス、併シナガラサウ云フ場合ニ於キマシテハ、救護法トカ一般ノ法制デ考ヘラレルンデ、此ノ保險デ考ヘラレルモノデヤナイ、ノミナラズ五十歳迄ハ何トカヤッテ行ケルダラウ、非常ニ年齡ガ高クナリマスト云フト、其ノ點ハ非常ニ困難ト思ヒマスガ、マア五十歳迄ハ船員ノ從來ノ生活カラ考ヘテ、相當困難デアラウガ、マルキリ所得ノ獲得能

力ヲ失フト云フコトモ考ヘラレナイ、サウ云フ風ナ點モ併セテ考ヘマシテ、五十歳ニ開始シマシテ、五十未滿デ罷シタ人ハ、假令十五年勤メテ居ッテモ、五十迄待ッテ貰フト云フコトニシタ譯デアリマス

海上生活者ニ對スル保護デアリマス、處ガ又一面各船會社カラ申シマスレバ、自分ノ會社デ使用スル船員ニ對スル福利施設、保護施設トシテ亦考ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレデ現在ノ勞資協定ノ退職賜金ハ、特定ノ會社ニ何年居ッたらバヤル、何歳迄居ッたらバヤルト云フコトノ規定デアリマシテ、サウ云フ方面ハ又是非必要ト思ヒマス、ソレデ二ツハ無論相並ンデ存續スベキデアラウト思ヒマス、ソレカラ又此ノ年金ニハサツキカラ問題ニナッテ居リマシテ、是ハ四十歳罷メテモ五十歳カラデナイト貰ヘナイ、其ノ間ノ繋ギハナイノデアリマス、ソコデソレニ對シテハ會社カラ貰フ退職賜金デ以テ、何カ陸上デ仕事ヲ求メテ行クト云フコトガ必要デモアリ

○子爵富小路隆直君 尙御伺ヒシタイノデスガ、斯ウ云フコトヲ政府ノ方ニ伺ッテ宜イカドウカ、少シ不適當カモ知レマセヌガ、所謂退職年齡ヲ大會社ナンカ決メテ居ルト云フノハ、長ク居レバ段々高級ニナル、而モ勞働能率ガ擧ラナクナルカラシテ、成ルベク早く相當ノ時期ニ於テ罷メサシテ、給料ノ安イ勞働能率ノ擧ル者ヲ使フト云フ意味モアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ハアルノデセウカ、ドウデセウカ

アリマス、サウ云フ風ニ給付ノ出來ナイコトヲ考ヘレバ、相當酷ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ガ又一般人ト考ヘマシテ、五十未滿デ罷シタ者ガ、五十歳迄ハ全然所得ノ獲得能力ガナイモノカドウカト云フコトガ問題デス、全然所得ノ獲得能力ガナイト云フコトニナレバ、是ハ考ヘナケレバナラス、併シナガラサウ云フ場合ニ於キマシテハ、救護法トカ一般ノ法制デ考ヘラレルンデ、此ノ保險デ考ヘラレルモノデヤナイ、ノミナラズ五十歳迄ハ何トカヤッテ行ケルダラウ、非常ニ年齡ガ高クナリマスト云フト、其ノ點ハ非常ニ困難ト思ヒマスガ、マア五十歳迄ハ船員ノ從來ノ生活カラ考ヘテ、相當困難デアラウガ、マルキリ所得ノ獲得能

力ヲ失フト云フコトモ考ヘラレナイ、サウ云フ風ナ點モ併セテ考ヘマシテ、五十歳ニ開始シマシテ、五十未滿デ罷シタ人ハ、假令十五年勤メテ居ッテモ、五十迄待ッテ貰フト云フコトニシタ譯デアリマス

海上生活者ニ對スル保護デアリマス、處ガ又一面各船會社カラ申シマスレバ、自分ノ會社デ使用スル船員ニ對スル福利施設、保護施設トシテ亦考ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレデ現在ノ勞資協定ノ退職賜金ハ、特定ノ會社ニ何年居ッたらバヤル、何歳迄居ッたらバヤルト云フコトノ規定デアリマシテ、サウ云フ方面ハ又是非必要ト思ヒマス、ソレデ二ツハ無論相並ンデ存續スベキデアラウト思ヒマス、ソレカラ又此ノ年金ニハサツキカラ問題ニナッテ居リマシテ、是ハ四十歳罷メテモ五十歳カラデナイト貰ヘナイ、其ノ間ノ繋ギハナイノデアリマス、ソコデソレニ對シテハ會社カラ貰フ退職賜金デ以テ、何カ陸上デ仕事ヲ求メテ行クト云フコトガ必要デモアリ

○子爵富小路隆直君 尙御伺ヒシタイノデスガ、斯ウ云フコトヲ政府ノ方ニ伺ッテ宜イカドウカ、少シ不適當カモ知レマセヌガ、所謂退職年齡ヲ大會社ナンカ決メテ居ルト云フノハ、長ク居レバ段々高級ニナル、而モ勞働能率ガ擧ラナクナルカラシテ、成ルベク早く相當ノ時期ニ於テ罷メサシテ、給料ノ安イ勞働能率ノ擧ル者ヲ使フト云フ意味モアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ハアルノデセウカ、ドウデセウカ

カト云フコトガー、又はノ經理、即チ政府ハ、國庫ハ保險ノ五分ノ一ヲ出ストカ、ソレカラ尙被保險者カラ保險料ヲ徵收スルト云フヤウナコトノ細カイ規定ガアリマスガ、ソレノ詰リ經理ハ如何ナル方法ニ依ッテ御ヤリニナリマスガ、例ヘバ特別會計ヲ設ケテ御ヤリニナルト云フヤウニモ考ヘラレマセヌガ、併シ此ノ事業ノ趣旨ヲ、明カニ經理ヲ立テ行カネバナラヌノデアリマスガ、其ノ方法ハ如何ナサルノデアリマスガ、隨分可ナリ面倒ナ仕事ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 船員保險ノ保險者ハ政府デアルガ、ソレノ機關ハドウ云フ風ニナルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ中央機關ト致シマシテハ厚生省ノ保險院デアリマシテ、其ノ中ノ社會保險局デ多少ノ人員ヲ増加シテ其處デ取扱フ、ソレカラ地方機關ト致シマシテハ、現在ノ健康保險ハ、府縣ニ健康保險課ト云フモノヲ置イテアツクノデアリマスガ、是ハ無論此ノ船員保險ニモ使ヒマスガ、唯船員保險ニ於キマシテハ府縣ノミデハ十分デナイノデ、遞信省ノ關係ノ海軍部トカ云フ管海官廳、是ハ船員事務ヲ扱ッテ居リマス、其處デ仕事ヲ矢張りスル、或ハ其處ノ資料ヲ使フト云フコトニ

依ッテ、初メテ簡便ニ行クノデアリマシテ、地方ノ機關ト致シマシテハ府縣ト、ソレカラ管海官廳ト云フコトニナルト思ヒマスガ、ドウ云フ風ナ構成ニ致シマスカハ、是カラ十分遞信省ト協議シテヤル積リデアリマス、ソレカラ此ノ保險ハ從來ニナイ點ガアルノデ、ソレハ外地ト關東州迄マア同時ニ扱フト、此ノ機關ニ付キマシテハ是非常ナムヅカシイ問題ガアリマスノデスガ、只今迄外地當局、對滿事務局アタリト話ガ付テ居リマスノハ、或ハ此ノ法律ヲ勅令デ施行シ、又ハ別個ノ勅令ヲ出シテ、内容ハ同一ノモノヲヤリマスガ、機關ハドウモ厚生大臣ノ下ニ統一スルト云フコトハ、只今困難デアリマシテ、機關トシテハソレノ植民地ナリ關東州ノ機關ヲ使ッテ、アチラノ總督ナリノ權限ノ下ニ於テヤル、但シ此ノ事務ノ會計的ノ方ノ組織ニ付テハ、一團トシテヤラナイト云フト、相互ノ異動等ノ場合ニ於テソレヲ通算スル、或ハ轉任異動等ノ場合ニ於テ、同ジヤウナ恩典ニ浴スルト云フコトガ出來マセヌノデ、是ハ一ツ特別ノ會計ニシテ行キタイ、是ハ今迄例ノナイコトデスガ、是モヤリタイト云フヤウニ大藏省ト今話合ヒ中デアリマス、ソレデ次ノ問題ノ經理ノコトデアリマスルガ、保險料ノ徵收其ノ他ノ

事務ハ、今御話シシマシタヤウニ地方デヤル、ソレヲ統轄致シマスノハ保險院デアリマスガ、特別會計ヲ無論設ケマス、特別會計ハ從來ト或ハ少シ違フ構成ニナルノデヤナイカト思ヒマスノハ、從來ノ特別會計ハ資金ノ會計ノミナラズ、現業ノ事務費モ特別會計ノ中デヤッテ居リマスガ、今度ハ外地モアリ、色々アリマスノデ、ソコラハ機關トノ關係上資金ダケ、詰リ年金ナラ年金ノ掛金ヲ取ッテ拂フト云フ部分ヲ特別會計ニシテ、人ノ關係ハソレノ會計デヤル、斯ウ云フコトニデモナルノデヤナイカ、是ハマダソコ迄確定シテ申上ゲラレマセヌガ、サウ云フ相當複雑ナモノニナルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○河井彌八君 機關ノ問題デアリマスガ、此ノ民間ノ詰リ組合ト云フヤウナモノヲバ御利用ニナル御考ヘナイカ、ソレカラモウ一點、今日ハドウカ知リマセヌガ、日本ニ國籍ヲ持ッテ居ル日本ノ船舶ガ、例ヘバ外國ノミ、外國間ノ航海ニ從事シテ居ルト云フヤウナコトモ當テハアツタヤウニ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ此ノ保險法ノ適用ヲ、如何ナル機關ニ依ッテ御ヤリニナルカト云フヤウナコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(進藤誠一君) 第一點ノ御質問

ノ、民間團體等ヲ此ノ保險ノ機關トシテ利用出來ナイカト、斯ウ云フ御質問デアリマスルガ、御承知ノヤウニ今迄ノ健康保險、ソレカラ職員健康保險ナドハ會社トカ或ハ工場ニ於テ組合ヲ作り、其ノ組合ノ機關ヲ使フト云フ風ニヤッテ居ルノデアリマスルガ、此ノ船員ノ場合ニ於テハ全部國家ガ繼メテヤル、民間團體ヲ使ハスト云フコトニナッテ居リマス、是ハ陸上勞働ニ於テハ其ノ會社トカ工場ガ固定シテ、其ノ場所デ働クノデアリマスカラ、ソレノ地域的ノ組合ヲ作ッテウマク行クノデアリマスガ、船員ノ方ハ日本全國何處ヘデモ行キマス、其ノ到ル處デ治療モ受ケナケレバナラスシ、支拂モ受ケナケレバナラスト云フノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ民間團體ヲ利用スルコトハ困難デアリマシテ、國家ガ一律ニヤルノミナラズ、先程申シマシタヤウニ植民地迄モ一緒ニシナケレバウマク行カヌ、斯様な事情デアリマス、ソレカラ外國バカリデ活動シテ居ル日本船、是等ニ對スル給付ハドウスルカト云フ御話デアリマスガ、日清汽船ノ如キ、日本ノ船デアリマシテモ揚子江沿岸ノミニ於テ活動シテ居ルト云フヤウナモノガアリマス、ソレデソレ等ニ付キマシテハ支那ノ重要ナ地、上海、南京、漢

口、天津、青島ト云フ風ナ所ニ矢張り醫療機關、病院若シクハ醫者ヲ契約シテ置イテ、ソレニ依ッテ治療出來ルヤウニ致シマシテ、ソレ等ニ對スル管理事務ナドハ領事館其ノ他ノ機關ヲ矢張り利用シテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマス

クトモ宜イサウデスカラ、分ル人デアレバ宜イサウデ……速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(男爵大森佳一君) 速記ヲ始メテ

○子爵富小路隆直君 ソレデハ御伺ヒ致シマスガ、此ノ前、大分前ニナルデアリマスガ、海員ガ先ヅ五十歳位ガ適當デアルト云フ御話デアッタ、色々御話ガアリマシタガ、マダ私共分リマセヌノハ、然ラバ海員ノ労働ト云フモノハ一般ノ労働トハ餘程違ッテ居ッテ、過激デアルトカ、何カノ點デ一般ノ労働者ト違ッテ高年齢ガ適シナイト云フノカ、或ハ海員ノ健康狀態ガ悪イカラシテイケナイト云フノカ、サウ云フ邊モシカリ分リマセヌ、實際ヲ承リタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 遞信省ノ管船局長ガ今豫算總會ノ方ニ出テ、手ガ外ヅセヌサウデアリマス、或ハ明後日デ如何デゴザイマスカ

○委員長(男爵大森佳一君) 說明員ノ海員課長ニ答辯ヲ願フコトニ致シマス、御異存ガゴザイマセヌカ

○子爵富小路隆直君 能ク御話ガ分レバ宜イノデス、必ズシモ管船局長デナクトモ宜シウゴザイマス、折角管船局長ガ御出ニナッテモ、要領ヲ得ナイノデハ却テ何モナラナイノデスガ……

○委員長(男爵大森佳一君) 說明員ノ海員課長ニ答辯ヲ願フコトニ致シマス、御異存ガゴザイマセヌカ

○政府委員(進藤誠一君) 管船局長ハ「ズット連日例ノ三ツモ法案ガアリマシテ……

○說明員(米田富士雄君) 御許ヲ得マシテ御説明ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ニ付キマシテ、先ヅ後ノ點ノ海員ノ健康狀態ガ普通ノ労働者ヨリハ特ニ惡イノデハナイカト云フ風ナ御懸念ニ付キマシテハ、實ハ全然サウ云フコトガナイノデゴザイマシテ、殊ニ船ニ乘リマス際ニハ一々各人ニ付キマシ

テ健康診斷ト云フ風ナモノヲ致シマシテ、船ニ乗セテ居リマス、是ハ勿論水夫、火夫ノ如キ普通海員ニ付テヤツテ居リマス、又所謂高級船員ト我々ガ俗ニ申シテ居リマスルガ、船長、機關長其ノ他ノ士官「クラス」ノ者ニ付キマシテハ、其ノ資格ヲ與ヘル際ニ嚴重ナ體格検査ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ資格ヲ與ヘル、是ハ船舶ト云フ一ツノ作業場ノ性質カラ致シマシテ、少シデモ缺陷ガゴザイマス、船舶ノ航行ノ安全ニ尠カラナイ支障ヲ及スコトガゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ注意ヲ致シテヤツテ居リマス、從ヒマシテ船員ノ健康狀態ガ、船員ニナリマス時ニ於テハ決シテ一般ノ者ト劣ッテ居ルト云フコトハナイト云フ風ニ確信致シテ居リマス、ソレデハ船員ガドウモ五十歳位ニナリマス罷メテ行クト云フ風ナ可能性ガ相當多イト云フコトハ、結局海上労働ト云フモノカラ來ル一ツノ結果デハナイカ知ラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、御承知ノ通り船員ハ、船デ働クト云フコトガ本質ニナッテ居リマシテ、船ハ始終移動致シテ居リマシテ、此ノ中ノ生活ト云フモノハ一般ノ陸上ニ於ケル生活トハ趣ヲ異ニシテ居リマスカラ、生理的ニ見マシテモ決シテ自然ノモノトハ申セナイヤウナ起居

○委員長(男爵大森佳一君) 今ノ局長デナ

○子爵富小路隆直君 此ノ次デスネ、此ノ次デ宜シウゴザイマスカラ、御話ノ能ク分ル方ニ、ドナタデモ宜イカラ此ノ次ニ來テ戴イテ結構デス

○委員長(男爵大森佳一君) 今ノ局長デナ

○政府委員(進藤誠一君) 管船局長ハ「ズット連日例ノ三ツモ法案ガアリマシテ……

○說明員(米田富士雄君) 御許ヲ得マシテ御説明ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ニ付キマシテ、先ヅ後ノ點ノ海員ノ健康狀態ガ普通ノ労働者ヨリハ特ニ惡イノデハナイカト云フ風ナ御懸念ニ付キマシテハ、實ハ全然サウ云フコトガナイノデゴザイマシテ、殊ニ船ニ乘リマス際ニハ一々各人ニ付キマシ

○子爵富小路隆直君 此ノ次デスネ、此ノ次デ宜シウゴザイマスカラ、御話ノ能ク分ル方ニ、ドナタデモ宜イカラ此ノ次ニ來テ戴イテ結構デス

○委員長(男爵大森佳一君) 今ノ局長デナ

○政府委員(進藤誠一君) 管船局長ハ「ズット連日例ノ三ツモ法案ガアリマシテ……

○說明員(米田富士雄君) 御許ヲ得マシテ御説明ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ニ付キマシテ、先ヅ後ノ點ノ海員ノ健康狀態ガ普通ノ労働者ヨリハ特ニ惡イノデハナイカト云フ風ナ御懸念ニ付キマシテハ、實ハ全然サウ云フコトガナイノデゴザイマシテ、殊ニ船ニ乘リマス際ニハ一々各人ニ付キマシ

○子爵富小路隆直君 此ノ次デスネ、此ノ次デ宜シウゴザイマスカラ、御話ノ能ク分ル方ニ、ドナタデモ宜イカラ此ノ次ニ來テ戴イテ結構デス

○委員長(男爵大森佳一君) 今ノ局長デナ

○政府委員(進藤誠一君) 管船局長ハ「ズット連日例ノ三ツモ法案ガアリマシテ……

○說明員(米田富士雄君) 御許ヲ得マシテ御説明ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ニ付キマシテ、先ヅ後ノ點ノ海員ノ健康狀態ガ普通ノ労働者ヨリハ特ニ惡イノデハナイカト云フ風ナ御懸念ニ付キマシテハ、實ハ全然サウ云フコトガナイノデゴザイマシテ、殊ニ船ニ乘リマス際ニハ一々各人ニ付キマシ

生活ヲ致シテ居ルヤウナコトデゴザイマシテ、其ノ主ナルモノヲ二三ヲ拾ヒマシテ申上ゲマスナラバ、ドウモ船ヲ職場トシテ居リマス關係上、陸上勤務者ノヤウニ自宅休養ト云フ時間ハマルデゴザイマセヌ、假令非番ノ時ト致シマシテモ、船内デ休ンデ居ルト云フ風ノコトデ、結局十分ナ休養ト云フモノガナカノ取リニクイト云フ風ナ實情ニアリマス、ソレノミナラズ船舶ハ御承知ノ通り限ラレタ容積ノ中ニ、出來ルダケ能率ヲ發揮スルヤウニ設計ガサレテ居リマスノデ、船員ニ付キマシテモ出來ルダケ其ノ乗組員ノ定員ヲ少クシテ、一人ニ餘計一ツ働カスト云フ風ニシナイト、船舶ノ運行經濟ト云フモノガウマク行カナイト云フ風ナコトカラ致シマシテ、自然ニ船員一人當リノ勞務狀況ト言ヒマスカ、ソレガ自然ニ過激ニナッテ行ク傾向ガ出テ參リマス、ソレカラ又是ハ當然ノ歸結ニナルノデゴザイマスガ、船員ハドウモ家庭トノ二重生活ヲドウシテモシナクチャナラスト云フ風ナコトニナリマスシ、其ノ船内生活ト云フモノハ、御承知ノ通り船舶ガ始終荒天、風雨ニ曝ラサレル機會ガ非常ニ多イノデゴザイマシテ、單リ作業ノ時ノミナラズ休養ノ時デモ、サウ云フ際ニハ始終引ッ張り出サ

レテ行クト云フ風ナコト、又船内ノ生活ガ非常ニ單調ナモノデゴザイマスノデ、娛樂トカ慰安ト云フヤウナ途モ餘リ講ゼラレテ居ナイト云フヤウナ結果カラ、船舶内デハ船員ノ生活ト云フモノハ、陸上ノ人々ノ生活カラ見ルト相當悲慘ナモノデハナイカ知ラスト云フ風ニ見テ居リマス、ソレカラモウ一ツ船員ニ付キマシテハ、陸カラ離レテ居リマス關係カラ致シマシテ特殊ナ、例ヘバ郵船トカ商船ノヤウナ大キナ會社ニ於キマシテハ、豫備員制度ト云フモノヲ持ッテ居リマシテ、船員ガ病氣ニナリマストカ、或ハ冠婚葬祭等ノ事故ノ爲ニ陸ニチヨット上ルト云フヤウナ時ハ、陸ニ上ルト云フ風ナコトガゴザイマスガ、一般ノソレ以外ノ船會社ニ於キマシテハ、他ノサウ云フ事情ニ依リマシテ上リマスト共ニ、船ハ其ノ港ヲ去ッテシマヒマスカラ、一應ソコデ雇傭關係ト云フモノガ切レテシマフト云フヤウナコトガゴザイマシテ、船内船員ノ生活ノ不安ト云フモノハ、相當他ノ職業ヨリ多イノデハナイカ、所謂海員制度ト云フモノハ餘リ認メラレテ居ナイト云フノガ實情ノヤウニ思ヒマス、又斯ウ云フ船員ガ始終船舶内ニ起居シテ居リマスノデ、陸上トノ交通トカ、或ハ通信ナント云フモノハ比較的疎ク

ナリマスル關係カラ致シマシテ、一般陸上ニ於キマスル經濟狀態、其ノ他ノ陸上ノ所謂情勢ト云フモノガ、甚ダ疎クナッテ來ルヤウナコトデ、餘リ知識ヲ持ッテ居リマセズ、サウ云フ者ガ陸ニ上リマシテ、何カ仕事デモシヨウト云フコトニナリマスト、又ソレガ相當苦シイ經驗ヲ嘗メサセラレルト云フ風ナコトガアルヤウニ聞イテ居リマス、之ヲ要シマスルニ斯ウ云フヤウナ實情カラ致シマシテ、ドウモ生理的ニモ或ハ衛生的ニモ、餘リ職ニ就テ喜バナイモノガ相當多イヤウニ聞イテ居リマス、一面サウ云フ風ナ勞働ガ可ナリ激シイノデアリマシテ、陸ノ方ニ轉向シヨウト云フモノガ多數出テ來ルト云フ風ナコトデアリマシテ、サウ云フ風ナ結果カラ、何トカシテ少シデモ產ガ出來ルト、四十位ニナリマスト家庭ヲ戀シガル、又生活又ハ自分ノ健康ト云フモノカラ致シマシテ、船員ヲ罷メルト云フヤウナ氣持ヲ總テ持ツヤウニナル傾向ニナルヤウナ實情デアリマシテ、又サウ云フ者ガ陸ニ上リマシテモ、必ズシモ成功シテ生活ヲシテ居ナイト云フ風ナコトモ、大體ノ大勢ノヤウニ私達ハ見テ居ルノデゴザイマス

○子爵富小路隆直君 色々承リマシタガ、私ノ考ヘマシタ點ニ當飯ルヤウナ點ガ少イト思ヒマスノデ、勞働ガ一般ノ勞働ニ比シテ苛酷デアルト云フ點ハ、多少ハ認メラレルカモ分リマセズ、他ノ點ハ生活ノ環境ガ違フト云フコトデアリマシテ、五十歳以上ノ勞働ハ適當デナイ、ドウモ不同デアルト云フ結論ニハ直チニ到達シナイヤウニ思ハレマスノデゴザイマスガ、チヨットモウ少シ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○説明員(米田富士雄君) 船内ニ於キマス此ノ勞働ガ、ソレデハドウ云フモノデアリマスカト云フコトヲ申上ゲルトスレバ、或ハ御満足ヲ得ラレルカモ知レナイト思ヒマス、船内ニ於キマシテ彼等ノヤッテ居リマスルコトハ、此ノ航海中ハ非常ニ何ト言ヒマスカ、水夫アタリノ所謂甲板部ノモノニ屬スル者ガ、中ノ掃除、ソレカラ機械、舵取ト云フヤウナコトヲシテ居リマシテ、一般ノ普通船員ハ相當力仕事ガ多イノデアリマス、ソレカラ火夫ト言ヒマスカ、機關部ノ方ノ者ニ付キマシテハ、石炭ノ方ノ石炭夫、機關ノ仕事、是ガナカノ私達見學ニ參リマシテ、非常ニ大キナ勞働ノヤウニ思ヒマス、機關室全體ガ非常ニ暑イモノデスカラ、迎モ我々ガ其處ニ長イ間入ッテ居ラレナイト云フ風ニ、斯ウ云フ風ナコトカラ致シマシテ、ドウモ年ヲ取ッテ參リマストナカノウマク參リマセヌ、ソレカラドウモモ下級ノ方ノ者ハ或ハサウ云フモノノ手傳ヲ致シテ居リマス、殊ニ港ニ入りマシタ時ノ作業ト云フモノハ、相當大キナ勞働ノヤウニ見受ケラレマス、ソレ以外ニ付キマシテモ當直制度ト云フモノガゴザイマス、是ガマア二十四時間ノ中デ、一應ハ誰ガ何時カラ何時迄ト云フ風ナ極メモゴザイマス、我々ノ生活カラ全然別ナヤウナ生活ヲ致シテ居リマシテ、睡眠時間ト云フモノモ決シテ規則的ニハ取ッテ居ラナイノデアリマシテ、サウ云フコトカラ致シマシテ、今ノ所船員モ餘リ年ヲ取ッテヤルト云フコトハ耐エラレナイヤウナ氣ガ致シマス、之ヲ病氣ナンカノ時、私達ノ所ヘ懇ヘテ參リマス病氣ナンカニ付キマシテ見マスト、怪我ヲスル、是ハモウ荒イ仕事ヲヤッテ居ルノデスカラ非常ニ多イノデアリマスガ、ソレ以外ニハ肺結核ト云フモノガ非常ニ多キヲ占メテ居ルノデアリマス、ソレト又不規則ナモノデアリマスカラ胃腸ヲ害スル、ドウモ相當年輩ニナリマスト耐エラレナイト云フヤウニ考ヘマス

○子爵富小路隆直君 御説明ヲ伺ヒマシテ段々分ッテ參リマシタ、是以上御伺シマシテモ同ジコトニナリマスカラ、此ノ程度デ止メテ置キマス

○委員長(男爵大森佳一君) 今日ハ是デ散

會ヲ致シマス、明後二十二日午後一時半カ

ラ開會ヲ致シタイト思ヒマス

午後零時八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵大森 佳一君

副委員長 子爵實吉 純郎君

委員

公爵鷹司 信輔君

侯爵蜂須賀正氏君

伯爵堀田 正恒君

子爵松平 保男君

子爵富小路隆直君

小原 直君

河井 彌八君

男爵小池 正晁君

河原田稼吉君

下村 宏君

男爵園田 武彦君

若尾 璋八君

磯野 庸幸君

濱口儀兵衛君

松岡 潤吉君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院書記官 川村 秀文君

説明員

遞信書記官 米田富士雄君